

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-528452(P2004-528452A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2002-585542(P2002-585542)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 27/12

C 0 8 K 5/14

C 0 8 K 5/17

C 0 8 K 5/36

C 0 8 K 5/49

【F I】

C 0 8 L 27/12

C 0 8 K 5/14

C 0 8 K 5/17

C 0 8 K 5/36

C 0 8 K 5/49

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月26日(2005.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬化性フルオロポリマー組成物であって、

水素含有フルオロエラストマーがフッ化ビニリデンから誘導された1つ以上の単位を含むときに、前記組成物が1種類以上の無機酸受容体を本質的に含まないという条件で、

a) 硬化部位モノマーから誘導された単位を有する、過酸化物硬化可能な水素含有フルオロエラストマーと、

b) 過酸化物硬化剤と、

c) 任意で、前記硬化剤の助剤と、

d) フッ素を含有しないオルガノ-オニウムと、

を含む硬化性フルオロポリマー組成物。

【請求項2】

硬化性フルオロポリマー組成物を提供する工程であって、水素含有フルオロエラストマーが、フッ化ビニリデンから誘導された1つ以上の単位を含むときに、前記組成物が1種類以上の無機酸受容体を本質的に含まないという条件で、

i) 炭素結合水素を含む少なくとも1種類のモノマーから誘導された単位と、硬化部位モノマーから誘導された単位とを有する、過酸化物硬化可能なフルオロエラストマーと、

i i) 過酸化物硬化剤と、

i i i) 任意で、前記硬化剤の助剤と、

i v) フッ素を含有しないオルガノ-オニウムと

を含む硬化性フルオロポリマー組成物を提供する工程 a、および、

前記硬化性組成物を硬化する工程 b、

を含む硬化フルオロエラストマーの圧縮永久歪みを改善する方法。

【請求項3】

水素含有フルオロエラストマーがフッ化ビニリデンから誘導された1つ以上の単位を含むときに、硬化性組成物が1種類以上の無機酸受容体を本質的に含まないという条件で、

a) 硬化部位モノマーから誘導された単位を有する、過酸化物硬化可能な水素含有フルオロエラストマーと、

b) 過酸化物硬化剤と、

c) 任意で、前記硬化剤の助剤と、

d) フッ素を含有しないオルガノ - オニウムと

を含む硬化性組成物の反応生成物を含む硬化フルオロエラストマー。